

テクスチャ



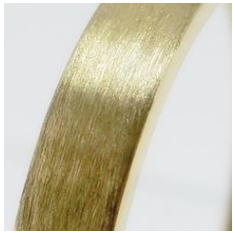
1 (マット、梨地、ホーニング)

- *ガラスビーズのブラストによるマットです。
- *梨地、ホーニングとも呼ばれます。
- *金剛砂やタガネで入れる梨地と比較すると、粒子が粗く、目の感じが柔らかいです。
- *7のアルミナによるマットとは全く異なる風合いです。
- *加工をしない箇所がある場合にはマスク処理が必要です。



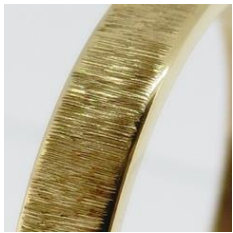
2 (ダイヤモンドダスト)

- *「ダイヤモンドダスト」と呼ばれるテクスチャで、角度により非常に強い輝きを放ちます。
- *目の強さは調整できます。
- *加工機では加工不可な「キワ」にも加工できます。



3 (ヘアライン)

- *細い筋状のテクスチャです。
- *向きは自由です。
- *サンドペーパーだけでは難しい凹部の「キワ」にも加工できます。



4 (刻み)

- *ヘアラインとは異なり、細いながらもしっかりと打ち込まれたテクスチャです。
- *向きは自由です。
- *角度により輝きを放ちます。



5 (木肌)

- *木の肌のようなテクスチャです。
- *いわゆる「楯目」のアレンジです。
- *向きは自由です。



6

- *5木肌テクスチャをランダムな向きに入れたものです。



7 (マット、梨地、ホーニング)

- *アルミナ#120のブラストによるマットです。
- *梨地、ホーニングとも呼ばれます。
- *非常に細かい目がキラキラとします。
- *1のガラスビーズによるマットとは全く異なる風合いです。
- *加工をしない箇所がある場合にはマスク処理が必要です。



8 (ダイヤモンドダスト)

- *2同様「ダイヤモンドダスト」と呼ばれるテクスチャですが、2よりも正面方向に輝きが強調されるタイプです。輝きの質が異なる為、どちらが良いというものではありません。
- *目の強さは調整できます。
- *加工機では加工不可な「キワ」にも加工できます。

テクスチャ

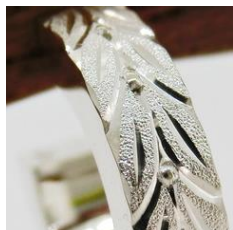


9 (光沢マット)

*ダイヤモンドダストよりも目が細かく、かつ方向性の低いテクスチャです。ダイヤモンドダストは細かい面がキラッ、キラッと分散して強く輝きますが、光沢マットは平均的に優しく光ります。

*目の強さは調整できます。

*加工機では加工不可な「キワ」にも加工できます。



10 (光沢マット細目)

*ダイヤモンドダストよりも目が細かく、かつ方向性の低いテクスチャです。ダイヤモンドダストは細かい面がキラッ、キラッと分散して強く輝きますが、光沢マットは平均的に優しく光ります。

*9光沢マットよりも目が細かいです。

*目の強さは調整できます。

*加工機では加工不可な「キワ」にも加工できます。



11 (光沢極小槌目)

*3mm幅の中にこれだけ入る、極小の光沢槌目です。

*但し、マットの様な細かさではありませんので、あまり細かい模様彫りとの組み合わせはお薦めできません。お互いがつぶし合ってしまうです。

*加工力が小さい為、通常の指環であればこの槌目を入れてもリングサイズが伸びてしまうことはありません。



12 (艶消し)

*微細なあらしによる艶消しです。

*7のマット加工は角度によりキラキラとした輝きが出ますが、こちらは輝きはほとんどありません。光沢を完全に消すことができ、光の散乱によりかなり「白く」見えます。